

1 学校教育目標						
未来に希望を抱き、常に学び前進し続ける生徒を育成するため、次の目標を掲げる。						
1		よく考え知性を磨く	知性			
2		学びあい品性を高める	品性			
3		すすんで体力をつける	体力			
2 めざす学校像、児童・生徒像・教師像						
○学校像	愛情と信頼の絆に結ばれた潤いのある学校をめざす。 質の高い教育を提供することによって、すべての生徒が学ぶ喜びを実感できる向学の気風に満ちた学校をめざす。それは、通いたい生徒、通わせたい保護者、力になりたい地域、生徒を愛する教師が共につくりあげる学校である。					
○児童・生徒像	夢と規律と向上心に満ちた生徒をめざす。 話を聞く態度 規律を守る態度 挨拶を欠かさない態度 への指導の充実が不可欠である。					
○教師像	常に新鮮な熱意、豊かな人間性、プロの授業力を備え、向上心を持ち続ける教師 瑞々しい感性・柔軟な考え・苦勞をいとわない向上心は、子どもの心を育て、質の高い学力を定着させ、学校を元気にする。生徒を育てることを教師の使命と自覚し、責任感を持ち、常に全力で、意欲的に取り組むことが重要である。					
3 学校の現状および前年度の成果と課題						
1 新学習指導要領の趣旨を生かした、確かな学力の定着と向上 授業改善及び新学習指導要領に対応した学力向上については、研究授業を通じて授業力の向上を図るための研修を定期的実施してきた。生徒による授業評価も、4段階でA、Bの評定は、その成果と判断することができる。また、毎週の放課後学習や夏季・冬季休業中の長期にわたる学習教室の実施は、生徒の学力向上に向けた学校の姿勢を示すことができた。確かな学力の向上を図るには、家庭学習の一層の充実が必要と思われる。今後は、家庭との連携をはかり、家庭学習の指導、学習習慣の定着を進めることが必要。						
2 子供との信頼関係に基づく生徒指導の充実 問題行動を未然に防止するため、日頃の規律を徹底しながらも生徒との信頼関係を地道に築いていく必要がある。本校においては日頃から礼法や身なりの指導に力を入れ、信頼関係づくりに向けたスキルを、「構成的グループエンカウンター」や「教育相談研修」を通して研修してきた。生徒の声を聞くために「悩み事アンケート」を年2回行い、生徒の声に耳を傾けてきた。現在、授業も落ち着いて行われ、課題を抱えた生徒の姿も殆ど見られなくなったのは努力の成果と思われる。今後も、生活指導に気を抜くことなく努め、不登校生徒の「一人でも一日でも」減少させるよう、積極的に取り組む。						
3 教職員の専門性・資質・人間性の向上 「生徒の意欲を引き出すための授業改善」をテーマに校内研修を進めてきた。授業力を身につけることを学ぶ「授業改善プロジェクトチーム」の設置は、人材育成に向けた学校の姿勢でもある。「構成的エンカウンター」や「教育相談研修」、年2回の「教員自己診断」も、自己能力の達成度を確認する機会となってきた。今後は、さらに若手教員が増え、組織的な人材育成を進める。						
4 教育環境の整備 学校図書館の整備・学校図書館支援員の配置・新刊本紹介コーナーの設置など、読書環境の充実については格段に進んできた。生徒の学習意欲を向上させるための少人数教室の整備、掲示の工夫などの学習環境の整備、プチ美術館・フォトギャラリー・廊下の花の設置など落ち着いた校内環境の実現に努めてきた。「フラワーボランティア活動」、「美化点検週間」など、生徒が意欲的に美化に向かう機会を設けた。地域・保護者・生徒・教員による「美化ボランティア」は教育環境の整備に取り組む学校の姿勢を広く示すことができた。生徒が目指している「足立区一きれいな学校」に向かい、指導に当たる。						
5 豊かな成長を図る地域協働型の学校経営の推進 昨年度も数多くの地域行事や校内でのボランティア活動に取り組み、延べ974名の生徒が参加した。生徒に奉仕の精神を学ぶ場として教育的効果は大きい。休日開催の授業参観、「出前学校説明会」や「体験部活動」は、保護者や地域の方々い本校をより知ってもらう機会となった。ボランティア活動については、より広範な生徒の参加を促す。						
4 重点的な取組事項						
番号	内 容	実施期間				
		20	21	22	23	24
1	新学習指導要領の主旨を生かした確かな学力		○	○	○	
2	子どもとの信頼関係に基づく生徒指導の充実	○	○	○		
3	教職員の専門性・資質・人間性の向上	○	○	○		
4	教育環境の整備	○	○	○		
5	豊かな成長を図る地域協働型の学校経営の推進	○	○	○	○	○

4 21年度の重点目標

重点的な取組事項－1 新学習指導要領の主旨を生かした、確かな学力の定着と向上		
A 今年度の成果目標		達成基準
●分かる授業・達成感のある授業・次が待ち遠しい授業。		新学習指導要領全面実施への対応。
B 目標実現に向けた取組		
項目	達成基準	具体的な方策
校内研修会の充実	研究授業は校内研も含め5回。	本校における新学習指導要領の展開の研究。
言語活動の充実	人間尊重。知的好奇心高揚。	家庭との連携及び全教科指導により推進。
家庭学習・放課後学習充実	家庭学習の定着。	家庭学習、放課後学習の推進。
重点的な取組事項－2 子どもとの信頼関係に基づく生徒指導の充実		
A 今年度の成果目標		達成基準
●安全・安心・充実の学校生活の基盤整備		不登校生徒数の半減。
B 目標実現に向けた取組		
項目	達成基準	具体的な方策
未然の生活指導の強化	各学年での実施。	エンカウンター、コーチング等の導入。
花と歌と挨拶いっぱい運動	花コン、合唱コン、全生徒挨拶	植栽活動、校歌指導、全教員による挨拶指導。
教育相談態勢の強化。	不登校生との登校復帰。	悩み事相談実施。S C・諸機関と連携強化。
重点的な取組事項－3 教職員の専門性・資質・人間性の向上		
A 今年度の成果目標		達成基準
●実践的課題解決に取り組み、自らの職能成長を図る		「授業内容は理解」でA B評価計70%以上
B 目標実現に向けた取組		
項目	達成基準	具体的な方策
教科及び領域の授業研究	日々の授業の工夫・改善。	新学習指導要領をふまえ授業改善の実施。
意図的・計画的O J T推進	学習・生活・折衝・組織貢献能力	4能力育成をO J T推進担当を中心に推進。
経験や職層に応じた研修	西新井中教員として職務従事。	リーダー養成研修。若手教職員の育成。
重点的な取組事項－4 教育環境の整備		
A 今年度の成果目標		達成基準
●潤いのある学校環境づくり		未使用スペースの整備と積極的活用。
B 目標実現に向けた取組		
項目	達成基準	具体的な方策
学校図書館の充実	利用生徒の50%増加。	支援員、ボランティア、教員の連携態勢。
施設・設備・校内掲示の充実	掲示物配慮。円滑な学習活動。	少人数教室、実技教科、カウンセリング室。
放課後学習教室の推進	活用生徒年間1000人以上	学習支援ボランティアの活用
重点的な取組事項－5 豊かな成長を図る地域協働型の学校経営の推進		
A 今年度の成果目標		達成基準
●保護者・地域とともに歩む学校		地区対等での顕彰対象となる。
B 目標実現に向けた取組		
項目	達成基準	具体的な方策
小中連携・中高連携の推進	具体的方策の実施	生徒会交流・職場体験・赤ペン先生派遣等。
地域連携ボランティア推進	参加生徒数延べ700人以上	青少年員、地区対、地元消防団等との連携。
学校関係者評価の実施	学校関係者評価の実施	文科省・区教委ガイドラインに基づき実施。